

(5)尾形典男とジョニ・ウォーカー

戦争勃発の影響は丸山の知己にも及んだ。1941（昭和16）年7月に丸山と同じく南原繁の下で東京帝国大学法学部助手となった尾形典男（おがたのりお：画像〈『回想尾形典男』勁草出版サービスセンター、1991年〉）は、助手採用の翌月に海軍に入隊した。戦争勃発後には南原の研究室に幾度か軍服姿で足を運んでいる。ある日、研究室に居合わせた丸山は尾形を誘い、本郷の「百万石」で会食した。尾形は海軍



士官の「役得」で入手したであろうジョニ・ウォーカーの角瓶を丸山に供した。丸山は「この御時節に世界第一級の、しかも敵国産のウイスキー」を手にする「贅沢」を味わった（「憶い出すことども」1991年〈『丸山眞男集』第15巻〉）。